

キーコントロールリスト - shibayan (2008 年 03 月 17 日 18 時 50 分 27 秒)

キーコントロールのコンセンサスを得るためには、RCMよりも、リスクとエラーのパターン(アサーション)とそのためのキーコントロールリスト(サマリー)を用意して議論する方が全体像を見渡すことができると思います。そのリストを持ち寄って、なんでこれがキーコンなのかを議論すると有意義なのでは?と感じています。

- ・RCMは確かに結果として拾ったキーコンをまとめるものですね。 - なわ (2008 年 03 月 17 日 21 時 41 分 01 秒)
- ・キーコンはそれ自体がキーコンであることよりも、複数が組み合わせあってキーコンとなることが多いのでは。だから、フローチャートの上でつぶしつつも、そのフローチャート(プロセス)の外側にあるモニタリングなどが漏れやすいんですね。実はプロセスの外側になるコントロールがキーだったりしませんか。 - なわ (2008 年 03 月 17 日 21 時 47 分 19 秒)
- ・そうなんです。全社統制もそうですが、モニタリングって、レイヤーが違うというか、レベル感が違うので、一度、思考を外において考えないといけないところがあります。ところで、モニタリングはある意味、究極のキーコンかと思いますが、モニタリングをキーコンとする場合の検討事項ってどんなものなのでしょう。 - shibayan (2008 年 03 月 20 日 13 時 35 分 15 秒)
- ・COSO が 2007 年 9 月にモニタリングに関するディスカッションペーパーを出しています。要点は、経営財務 2837 号にもありますよ。 - なわ (2008 年 03 月 20 日 15 時 43 分 48 秒)
- ・キーコンと言った時に、それがコントロール「すること」(手続)を指しているときと、(結果として)コントロール「されていること」(状態)を指していることとあります。コントロール手続は COSO 枠組みにも日本の内部統制基本要素にも入っているので直接的に捉えやすいですが、本来はたとえば「統制環境」によって統制されている状態が作られることもあるので、キーコンを議論する場合には、どのレイヤーで議論しているのか意識せねばなりません。 - なわ (2008 年 03 月 20 日 15 時 47 分 09 秒)